

金言寺大イチョウの観光資源としての周辺整備について

村尾明利 議員

町長 地元の檀家を中心とする皆さんと十分協議し、整備を進めたい



問 島根県内で優れた景観を形成する構造物や保全活動を顕彰する2010年度「しまね景観賞」に「大馬木の金言寺の萱葺屋根と大イチョウ」が大賞を受賞した。観光客が年々数を増し、昨年の初秋から初冬にかけて、訪れる人は毎日後を絶たない状況です。風光明媚な観光資源を誇る奥出雲町に訪れていただくことは、町の活性化につながるもの。

答 しかし、これを維持するお寺や檀家、地元の大イチョウを守る会では、萱葺のふき替え作業だけでも大きな費用、人手を要し負担が大変と伺っている。また、訪れる方々から幾つか要

問 島根県内では、地元の景観賞の大賞を受賞、おめでとございます。地域の皆さんの長年にわたって守ってこられた取り組みが評価されたものと聞いています。これら周辺整備については、地元関係者の皆さまと十分協議し進めたいと考えます。

問 県教委の「離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業」対象の横田高校への支援について伺う。この事業は、地域住民、自治体を巻き込んで地元高校の魅力アップを図る。県内外から生徒確保につなげようとする

望や指摘が上がっている。①所在ルートの看板が国道や県道、町道の要所に無く、迷うことなくたどりつけないこと。②駐車場スペースが狭く、又、マイクロバスなど大型車両が近くに駐車できないこと。③お寺にあるトイレが小さくて多人数の使用には不便が生じているなど。これらの整備について町の支援が出来ないか伺う。

答 まず、しまね景観賞の大賞を受賞、おめでとございます。地域の皆さんの長年にわたって守ってこられた取り組みが評価されたものと聞いています。これら周辺整備については、地元関係者の皆さまと十分協議し進めたいと考えます。



▲ 金言寺の大イチョウ(3月風景)

問 地域的な教育機会のハンディキャップを補う隠岐島前高校のような「公営塾」が本町にも必要ではないか。

答 この学習支援機能をどう持たせていくか、どう言いつづかな仕掛けが必要

問 本年度本格的な農家所得補償制度によって本町は減反面積の大幅増加を強いられる。今後さらに減反増加を余儀なくされる。今の「町地域水田農業ビジョン」は米の作付面積等において大きく変更が生じる事だ。この際、本町独自の抜本的な「水田農業ビジョン」を構築する必要があると思うか。

答 本町の耕地の維持管理はやはり水田の形態が最もふさわしい水田機能を維持することを基本に、売れる米づくりに対応した生産・販売・担い手育成等課題は引き続いているので当面、見直しは考えていない。

もの。何をアピールして高校の魅力化・活性化を図るべきと考えるか。

答 安部教育長
卒業率が98%。質実剛健の校風。トップレベルのホッケー・陸上・剣道等競技力。小・中学校と連携した学力向上生徒指導。また、豊かな自然や産業、貴重な歴史・神話を生かした取り組みなど考えられます。

か教育委員会を中心に高校側と十分協議検討させたい。

問 横田高校の寮生徒への助成措置が現在あるのか。県外からの留学など魅力につながる助成は充分か。

答 安部教育長
高校には、後援会を通じて今年度250万円を助成し、内70万円を寄宿舎助成として寮費の月4万1千円を3万7千円に軽減している。